

葉山嘉樹 あきやま かつき 小説家。明治二十七年二月十日福岡県生乳、昭和二十一年十月十八日没（二八九四—一九四一）。本名嘉重。筆名葉山民平。請職を轉々とし、労働運動に加はつて入獄を繰返した。大正十五年雑誌『文藝戦線』同人。昭和九年以降地方に移住し乍ら執筆。十八年満洲の開拓村に入り、引揚途中病死。

著書 『續プロレタリア最近傑作選集』（合著・山崎今朝彌編、大正十五年十一月） 『二十日解放社「解放群書」』（『流深船』（昭和二年）二月二十一日） 春陽堂『文壇新人叢書』（『日本小説集・第二集—昭和二年版』（合著・文藝家協會編、昭和二年五月十日） 『新潮社』（『新葉山嘉樹集』

（昭和二年八月十日） 『改造社』（『労働者の居る船』（昭和四年一月三日） 『改造社「改造文庫」』（『海に生くる人々』（昭和四年一月） 『改造社「改造文庫」』（『葉山嘉樹集』（昭和四年十月十五日） 『改造社「新進傑作小説全集」』（『最近の文學・文章研究と國語教育』（合著・千葉春雄編、昭和七年十月） 『厚生閣書店』（『葉山嘉樹全集』

（昭和八年一月） 『二十日改造社』（『山の幸』（昭和十四年一月） 『二十日改造社』（『海と山と』（昭和十四年一月） 『二十日改造社』（『書多のうし長篇小説叢書』（『濁流』（昭和十五年二月） 『二十日改造社』（『昭和名作選集』（『子狐』（昭和十五年七月十五日） 『岩波書店』（『現代小説選集』（『葉山嘉樹隨筆集』（昭和十六年二月） 『二十日改造社』（『春陽堂書店』（『子ぎ護る』（昭和十七年九月） 『新潮社』（『昭和名作選集』（『海に生くる人々』（昭和二十五年八月十日） 『岩波書店』（『岩波文庫』



（昭和二十五年八月十日） 『岩波書店』（『岩波文庫』） 『淫賣婦・移動する村落他五篇』（昭和二十九年一月） 『二十五

白岩液書店「岩液文庫」()、マゼマント樽の中の手紙・人を殺す犬。

電報・線路工夫 (黒川 博治合著、昭和四十四年五月二十日 白岩書房)

「雨の白文庫・現代白文庫」()、昭和戦前編」()等。